

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/30)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月30日(土)午後3時

■避難人員 6,665人

町内避難所:40箇所、6,116人

町外避難所:5箇所、549人

■集団避難人員:1,309人

■昨日現在で

搬入遺体数 503体

うち身元確認済み 397体

■町内シャトルバスの運行について

最終調整をしておりますので、5月2日の定例会見でお知らせします。

■南三陸町広報紙の発行について

震災後、当町の広報紙を発行できておりませんでした。来月、5月より、1日と16日の月2回、発行させていただく予定にしております。

配布の方法については、従来の、区長を通じた配布に合わせて、ボランティアセンターを通じた配布も行います。

掲載内容は、役場仮庁舎で行っている業務の案内、各業務からのお知らせなど、となっております。

■「福興市」の開催について

昨日と今日の2日間、「福興市」が開催され、昨日は5,000人、今日は10,000人、2日間合計で15,000人の方々がいらっしゃいました。

私も2日間参加しまして、多くの方々にお会いしましたが、皆さん笑顔でいらっしゃいました。会場でお会いした方の中には、大崎市の集団避難先からシャトルバスで来られた方もいらっしゃいましたが、避難先において歓待され、喜んでいられるとお声を聞くこともできました。

会場での活気を感じると、「福興市」が当町の復興のきっかけになると確信しました。

■質疑応答事項

(記者)町内シャトルバスの運行開始はいつになりますか？

(町長)5月9日(月)からになります。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/29)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月29日(金)午後3時

■避難人員 6,671人

町内避難所:40箇所、6,118人

町外避難所:5箇所、553人

■集団避難人員:1,309人

■昨日現在で

搬入遺体数 501体

うち身元確認済み 397体

■4月27日の行幸啓について

一昨日、4月27日(水)に、天皇皇后両陛下が、当町を行幸啓になりました。

午後2時ごろ、歌津中学校避難所をご視察になられ、避難されている方に、直接お声をかけられて、お見舞いになりました。

また、午後2時半ごろには、伊里前小学校に移られ、復興にむけて尽力されている方々にお声をかけられて、労いになりました。

両陛下をお迎えして、避難所ではひとときですが、震災前の笑顔が戻ったように感じられました。両陛下におかれましては、長い避難生活で疲れのせている皆さんの心を癒していただき、本当に感謝しております。

■歌津地区の合同慰霊祭が開催されました

昨日、伊里前小学校体育館において、合同慰霊祭が行われ、1,000名近くのご遺族の方などが参列されました。

津竜院(しんりゅういん)のご住職があいさつをされましたが、「九死に一生を得た命、犠牲になられた方の分まで、一生懸命に生きましょう。」とのメッセージが大変印象に残りました。

私は、追悼のことばを述べさせていただき、町民の皆さんと一丸となって、全身全霊で復興に向けて取り組んでいくことを、御霊の前で誓ってまいりました。

■南あわじ市長が来町されました

一昨日、4月27日に、南あわじ市から中田勝久(なかた かつひさ)市長が来町されました。阪神・淡路大震災を経験されたお立場から、温かい激励のお言葉をいただき、本町の復興に向けて、継続的な支援の申入れもいただきました。

また、支援物資としまして、南あわじ市特産のヨーグルト・プリンを各2,500個、レタスを1,900個、お持ちいただきました。

多方面にわたる支援に対しまして、心から感謝しております。

■臨時町議会が開催されました

昨日、臨時町議会が開催されました。まず、議長を決定する投票が行われ、後藤清喜(ごとう せいき)議員が選出されました。

次に、震災関連の専決処分、補正予算について、承認、議決をいただきました。

さらに、全員協議会にて、「南三陸町震災復興基本方針」の骨子について、お示ししまして、基本方針の策定方法について、説明いたしました。

■仮設住宅の抽選会などについて

本日の午後4時から、仮設住宅入居者を決定する、第2回目の抽選会を行います。

申込世帯数は、

- ・歌津地区の吉野沢住宅が、提供戸数64戸に対して、519世帯、
- ・志津川小学校、志津川中学校が、提供戸数、合わせて162戸に対して、997世帯、となっております。

入居予定日は、吉野沢住宅が、5月中旬頃の予定で、志津川小学校、志津川中学校が、5月20日の予定となっております。

また、本日、登米市の横山住宅59戸、戸倉地区の志津川自然の家81戸について、鍵の引き渡しを開始しました。入居日については、横山住宅が、本日から、志津川自然の家が5月9日から、となっております。

引き渡しを受けた方から笑顔がこぼれ、新たな生活の第一歩を踏み出す、喜びが感じられて、私も大変うれしく思いました。

■「福興市」の開催について

本日、志津川中学校において、全国の物産などを販売する、「福興市」が開かれました。明日、4月30日(土)も、午前10時から午後2時まで、開催されます。

本町の活気を取り戻し、参加した方が、皆、笑顔になれる、「福興市」に、ぜひご参加ください。

■5月以降の定例記者会見について

これまで、毎日行ってまいりました、定例記者会見ですが、来月からは、月曜日・水曜日・金曜日の週3回の実施とさせていただきます。

■質疑応答事項

(記者)仮設住宅の入居にこぎつけた今の心境はいかがですか？

(町長)避難をされている皆さんの一番の願いは、住む場所です。衣食住のうち、「衣」と「食」については、全国の皆さんから贈られた物資で支えられていましたが、「住」が最後に残っていた部分でした。その「住」について、第一歩を踏み出せたと感じています。

(記者)今後、仮設住宅に入居された方へ、どのように支援していく予定ですか？

(町長)物資の提供について配慮が必要です。また、義援金の分配についても、早く進めなくてはならないと考えています。

(記者)震災直後からこれまで、定例記者会見を毎日続けられましたが、プラスになった面、マイ

ナスになった面についてお聞かせください。

(町長)南三陸町はマスコミの皆さんにきっちり情報提供していき、マスコミの皆さんには、南三陸町の状況を全国に発信していただきたいとお願いしてきました。全国から多大な支援が集まったのは、まぎれもなくマスコミの皆さんのおかげで、大変感謝しております。

(記者)ゴールデンウィークに入って、ボランティアの方が南三陸町に多く入ってこられると予想されます。ボランティアの受け入れについて、どのようにお考えですか？

(町長)ボランティアの方が多く入ってこられるのは、既に想定しております。自衛隊の方が集めてくださった、アルバムなどの「思い出の品」を整理、清掃していただく作業をお願いすることにしております。

[お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料\(4/26\)](#)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月26日(火)午後3時

■避難人員 6,797人

町内避難所:41箇所、6,234人

町外避難所:5箇所、563人

■集団避難人員:1,377人

■昨日現在で

搬入遺体数 496体

うち身元確認済み 390体

■行幸啓について

明日、4月27日(水)に、天皇皇后両陛下が、当町に参られる予定になっております。時間、場所等については、発表を差し控えさせていただきます。

なお、行幸啓の目的は、被災状況の視察、避難をされている方々のお見舞い、被災地の支援、復興に尽力する方々のねぎらい、とお聞きしています。

■歌津地区の合同慰霊祭の開催について

4月28日(木)午前10時から、伊里前小学校の体育館において、歌津地区の合同慰霊祭が行われます。

なお、戸倉地区の合同慰霊祭は4月24日に行われております。

■明日の定例記者会見について

明日、当町に行幸啓になられる関係で、明日の定例記者会見は休みとさせていただきます。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/25)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月25日(月)午後3時

■避難人員 6,808人

町内避難所:41箇所、6,245人

町外避難所:5箇所、563人

■集団避難人員:1,377人

■昨日現在で

搬入遺体数 492体

うち身元確認済み 389体

■臨時町議会の開催について

4月28日(木)の午後1時半より、震災後初めてとなります、臨時町議会を開催します。議会における、主な議案としましては、東日本大震災で必要となった、専決処分の承認、ならびに補正予算などになります。

■水尻橋の通行状況について

本町の志津川地区と戸倉地区を結びます、国道45号線の水尻橋の通行につきましては、午後7時から午前5時の間は通行できない状態でしたが、本日より、終日通行が可能となりました。

■西宮市職員の避難所でのピアノ演奏について

兵庫県西宮市より、本町の支援のため、職員を派遣いただいておりますが、その派遣職員の一人名である谷口博章(ひろあき)さんが、本日、志津川中学校、歌津中学校でピアノ演奏をされました。生徒たちも大変勇気づけられたと思います。

■質疑応答事項

(記者)臨時町議会の具体的な内容はどんなものですか？

(町長)震災後は議会を開催できませんでしたので、震災関連の専決処分が8件あります。また、震災で監査委員が亡くなられたため、監査委員の選任を行います。詳しい内容につきましては、議会当日に傍聴いただければと思います。

(記者)予算の規模はどれぐらいですか？

(町長)約60億円の補正をして、総額が約130億円です。これは、通常の南三陸町の予算と比べ、おおよそ倍にあたる規模になります。

(記者)臨時町議会の開催場所はどこですか？

(町長)南三陸町役場仮庁舎の敷地内にある会議室です。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/24)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月24日(日)午後3時

■避難人員 6,815人

町内避難所:41箇所、6,242人

町外避難所:5箇所、573人

■集団避難人員:1,377人

■昨日現在で

搬入遺体数 489体

うち身元確認済み 386体

■戸倉地区合同慰霊祭が開催されました

本日、戸倉地区の海蔵寺において、合同慰霊祭が行われました。約500名のご遺族の皆さんなどが参列されました。

海蔵寺護持会会長代行による開式の辞で、「人には別れがくるものだが、残酷な気持ちのみ残る、悲愴な災害」ということばが印象に残りました。

ご遺族代表は、東日本大震災から44日経った今、気持ちの整理もつかず途方に暮れている、しかし、今日を境に少しずつ前に進んでいく、とお話になりました。

私は、追悼のことばを述べさせていただきました。災害翌朝、防災対策庁舎の屋上から、変わり果てた町の様子を見た瞬間「この町の再建こそが、私の天命と感じた」ことが脳裏によみがえり、涙がこみ上げてきましたが、町民の皆さんと一丸となり、全身全霊で復興に向けて取り組んでいくことを、御霊の前で誓いました。

■仮設住宅建設着工予定について

仮設住宅の建設について、新たに2か所、着工の予定が決まりましたので、お知らせします。

「伊里前小学校」「入谷中学校跡地」、いずれも4月26日(火)の着工予定で、抽選を5月中旬に行い、入居については、5月下旬になる見込みです。

■第3次集団避難の申込の受付について

4月25日(月)から27日(水)まで、第3次集団避難の申込を受付けます。

集団避難の期間は、これまでと同様に仮設住宅完成予定の9月までとなります。

今回は、町内の宿泊施設が集団避難先に含まれています。

志津川地区の、「ホテル観洋」に600人、歌津地区の、「ニュー泊崎荘」に130人、「清観荘」に24人、戸倉地区の、「津の宮荘」に36人、「ながしず荘」に30人、「松波荘」に24人、合計844人の方々が町内で集団避難していただけるようになります。

市外の避難先は、県内は、栗原市、登米市、大崎市、加美町、色麻町、県外は、山形県、秋田県、北海道、富山県、新潟県となっています。

避難所の決定は、前回同様に集落がまとまった場合や、第2次までに移動されている方のご家族が同じ施設を希望した場合は、そちらを優先させていただきます。

■ 質疑応答事項

(記者) 町内の集団避難が3回目の集団避難で実現したのはなぜなのか？

(町長) インフラが整ったこと、電気が通ったことが大きな理由です。水については、給水車で対応します。

(記者) 町内で集団避難を実施する理由は？

(町長) 地元を離れたくないというお気持ちの方が多いためです。町内の避難先が入ったことにより、今回の申込者数は増加する見込みです。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/23)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月23日(土)午後3時

■避難人員、集団避難の人数は第二次集団避難の集計ができ次第発表させていただきます。

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 486体

うち身元確認済み 386体

■ジュリア・ギラード オーストラリア首相、松本外務大臣の来町について

本日、オーストラリアのジュリア・ギラード首相、そして松本剛明(たけあき)外務大臣が来町されました。

これまで、オーストラリアからは、様々なご支援をいただいております。まず、震災直後の3月16日(水)から19日(土)まで、オーストラリアの救助隊が本町に入り、捜索、救助活動をしていただきました。

そのほか、野菜スープ缶詰め3,500缶、チョコビスケット2,000袋など、食料品関係も多数ご提供いただきました。支援の内容の詳細については、別紙をお配りさせていただきます。

一行は、正午前に、被災を受けた防災対策庁舎前に到着され、その場で被災状況などを説明させていただきました。津波の状況や被害の甚大さをお話すると、悲しげな表情を浮かべ、耳を傾けておられました。尊い人命が失われた話になると、私の肩に手をまわし励ましてくださりました。

12時半過ぎには、ベイサイドアリーナを訪問され、避難されている皆さんにお声掛けされました。

2階に上がった時には、ブーツを脱がれ、避難されているご家族のところまでお近づきになり、子どもたち、そのご家族と、お時間をかけてふれあっておられました。

子どもたちには、コアラやカンガルーのぬいぐるみをプレゼントされ、また、温かい励ましのお言葉をかけておられました。

南三陸町からは、これまでの多大なご支援に対する感謝の気持ちとして、地元の人たちがシルクフラワーで作った「さつき」を贈らせていただきました。

■戸倉地区の合同慰霊祭の開催について

明日、4月24日(日)午前10時から、戸倉地区の海蔵寺で合同慰霊祭が行われます。また、歌津地区では、4月28日(木)に合同慰霊祭が行われる予定です。

■質疑応答事項

(記者)防災対策庁舎前では、どのようなお話をされましたか？また、そのときの首相の反応はどのようなものでしたか？

(町長)被災状況について詳しくお話をさせていただきました。お気の毒にとおっしゃって、お話を聞いていただきました。お気遣いのある素晴らしい方でした。

(記者)南三陸町からの贈り物に「さつき」を選んだ理由は？

(町長)本町は昔、養蚕が盛んで、シルクフラワーづくりに力を入れておられる方が多く、第1土曜・日曜に作品展示を行っていました。その展示作品を、一つは首相に、一つは大使にお贈りしました。

(記者)戸倉地区の合同慰霊祭はどのようなものですか？

(町長)海蔵寺、慈眼寺合同での慰霊祭で、被災を受けていない海蔵寺で行われます。なお、町全体の合同慰霊祭は5月に開催する予定です。

■参考資料

オーストラリア政府首相より被災者への食料品と玩具の支援提供

ベイクドビーンズ・スパゲッティ缶詰 3,500 個

野菜スープ缶詰 3,500 個

チョコレートビスケット 2,000 袋

ミックスフルーツ 375 袋

ビーフ缶詰 3,000 個

ビーフカレー缶詰 3,000 個

ビーフジャーキー 4,000 袋

クッキー 4,000 袋

コアラのぬいぐるみ(小) 1,500 個

コアラとカンガルーのぬいぐるみ(大) 200 個

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/22)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月22日(金)午後3時20分

■避難人員、集団避難の人数は第二次集団避難の集計ができ次第発表させていただきます。

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 483体

うち身元確認済み 380体

■第二次集団避難の状況について

昨日に続き、本日正午過ぎ、第二次集団避難の2日目として、110人が出発しました。バス4台などで登米市、大崎市に移動しました。

なお、当日キャンセル分は反映できていませんので、移動人数の確定は現地到着を確認してからになります。

■仮設住宅の抽選について

本日、午後3時から仮設住宅入居者を決定する抽選が行われています。

申込者数は、登米市津山町の横山住宅が提供戸数59戸に対し454人、町内志津川自然の家81戸に対し269人でした。

入居予定日は、横山住宅が4月29日(金)からで、志津川自然の家が5月9日(月)からの週になる予定です。

■小・中学校の再開について

本日、午前10時から校長会が開催され、学校再開の日程について協議されました。

小・中学校の始業式は、いずれも5月10日(火)に行われます。入学式については、5月11日(水)もしくは12日(木)に行われます。詳細の資料は後ほどお配りします。

気になっておりました、子どもたちの学校の再開が決定し、安心いたしております。

■質疑応答事項

(記者)仮設住宅の抽選が行われたが、感想は？

(町長)避難所にいる皆さんを一日も早く仮設住宅に、という気持ちがあった。今回は140戸分について抽選させていただいたが、これからもスピードを上げて建設を進めたい。

(記者)必要戸数確保の目処は？土地についての目処は？

(町長)資材の確保はできたと県から回答をもらっている。公共の土地では約1000戸を予定している。民地の利用も検討しているが、それが無理な場合、登米市さんにご協力をお願いすることも考えている。

■参考資料

町内小・中学校の始業式・入学式の期日について

志津川小学校…始業式が5月10日(火)午前9時半から、入学式が5月12日(木)午前10時から

戸倉小学校…始業式が5月10日(火)午前9時から、入学式が5月11日(水)午前9時半から

入谷小学校…始業式が5月10日(火)午前9時から、入学式が5月12日(木)午前10時から

伊里前小学校…始業式が5月10日(火)午前8時45分から、入学式が5月11日(水)午前10時から

名足小学校…始業式が5月10日(火)午前8時45分から、入学式が5月11日(水)午前9時30分から

志津川中学校…始業式が5月10日(火)午前10時から、入学式が5月12日(木)午後1時から

戸倉中学校…始業式が5月10日(火)午前10時から、入学式が5月11日(水)午前11時から

歌津中学校…始業式が5月10日(火)午前10時から、入学式が5月11日(水)午後1時半から

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/21)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月21日(木)午後3時

■避難人員、集団避難の人数は第二次集団避難の集計ができ次第発表させていただきます。

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 478体

うち身元確認済み 379体

■第二次集団避難の状況について

先日521人の第二次集団避難について決定しましたが、その後キャンセルが59人、追加申込が9人あり、計471人の皆さんが、今日から集団避難されることになりました。

本日、正午過ぎ、栗原市、大崎市、加美町、山形県へ向け、第二次集団避難の191人が、バス3台などで出発しました。

第二次集団避難は、明日22日(金)にも、登米市、大崎市に向け、110人が出発します。

ご自身で避難される方は280人で、秋田県に避難される方は、皆さん自家用車で避難することになっています。

なお、当日キャンセル分は反映できていませんので、移動人数の確定は現地到着を確認してからになります。

■南島原市長の来訪について

本日、午前10時、長崎県南島原市から、藤原米幸(よねゆき)市長、梶原重利(かじわら しげとし)議長が、来町されました。

保健師、保育士などの職員派遣のほか、空き家住宅の提供、子どもたちのホームステイ受け入れなど、南島原市独自の支援プログラムのご提示をいただきました。

また、2,230万5千円の義援金もいただきました。

この金額の由来をご説明しますと、南島原市の市民全員からの支援の気持ちを表すため、平成23年3月11日(金)現在の南島原市の人口5万2,305人に、1人1,000円をかけ、5230万5千円という額を出されました。

この額から、宮城県、岩手県、福島県にそれぞれ1,000万円を義援金として贈られ、残りの2,230万5千円が本町に贈られることになりました。

■質疑応答事項

(記者)山形県、秋田県の避難先の住所は？

(町長)山形県上山町、秋田県にかほ市です。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/20)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月20日(水)午後3時

■避難人員 7,020人

町内避難所:41箇所、6,405人

町外避難所:5箇所、615人

■集団避難人員:911人

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 474体

うち身元確認済み 370体

■無償提供を受けた浄水設備の利用開始について

4月13日(水)に、水道事業を業務委託している企業から無償提供を受けた浄水設備を、歌津地区で昨日から、入谷地区で本日から利用開始しました。

現在、水質検査を行っているため、生活用水としてのみ利用しています。

また、発電機を使っての処理になるため、日中のみ稼働させており、1箇所あたり40～50トンの水を処理しています。

電気が通った後はフル稼働することとなり、その際は、1日100トンの水を処理できることとなります。

■登米市に入院患者受入れ協力を要請

昨日、登米市 布施孝尚市長を訪問し、登米市米山診療所で、本町志津川病院の入院施設としての協力を要請してまいりました。

4月18日(月)から再開しております志津川病院は、プレハブの建物で、外来診療スペースしかないため、入院が必要な皆さんのための緊急の対応として要請してまいりました。

■志津川港海洋調査について

昨日お知らせしました、ロボット探査チームによる志津川新漁港の海洋調査が、本日は行われました。

午前中の作業を見学してまいりましたが、濁りのある海にも関わらず、海中の画像は非常に鮮明で驚かされました。タイヤなどが沈んでいる場所をはっきりと確定することができ、地図に落としていきました。

ガレキの沈んでいる場所を特定し、撤去した後、仮の水揚げ場として使える場所について、おおよその特定をする予定です。

■オーストラリア首相の来町について

4月23日(土)に、オーストラリアのジュリア・ギラード首相が来町されることになりました。

午前 10 時ごろ、平成の森にご到着の後、志津川市街地を視察され、災害対策本部会議室で会談が予定されています。また、ベイサイドアリーナに避難されている皆さんの訪問も予定されています。

■ 質疑応答事項

(記者) 仮の水揚げ場はいつ頃決まるのか？

(町長) 本で行われたロボット探査チームの調査で、新漁港のほとんど全域を網羅することができる。ガレキ等で船が安全に入ってこれないなら撤去しなければならないし、今回の調査をもとに検討していくことになる。

(記者) 船が入ってくるとなると、地盤沈下分のかさ上げが必要ではないか？

(町長) 技術的な問題になってくるので、これから取り組んでいきます。漁業の復興は、復興の柱だと感じています。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/19)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月19日(火)午後3時

■避難人員 7,029人

町内避難所:41箇所、6,416人

町外避難所:5箇所、613人

■集団避難人員:911人

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 473体

うち身元確認済み 370体

■志津川病院再開初日の利用者数について

昨日、ベイサイドアリーナ横プレハブにて、志津川病院が再開しました。地域の皆さんの健康管理を担うべく、外来診療を実施しています。

昨日の利用者数は、内科が97人、外科が17人、小児科が7人でした。

■第二次集団避難 出発日について

昨日午後5時、第二次集団避難者リストを公表しましたが、避難先への移動が4月21日(木)から始まります。後日移動される方、県外へ避難される方の日程は、現在調整中です。

■仮設住宅申込状況、建設着工予定について

4月8日(金)からスタートしました、仮設住宅への入居申込は、4月18日(月)現在1244件になっています。申込は4月21日(木)まで受付、抽選は翌22日(金)に行われます。

仮設住宅の建設について、先日、4月12日(火)着工分についてお知らせしましたが、次期着工予定についてお知らせします。

- ・志津川高校 4月20日(水)から
- ・平成の森 4月21日(木)から
- ・歌津中学校 4月27日(水)か28日(木)から

本日現地調査を行っておりますので、いずれも予定日となっております。

■志津川港海洋調査について

長岡技術科学大学 大学院 木村哲也准教授のご紹介で、志津川港海洋調査を実施することになりました。本日は、悪天候のため、テスト的な現地調査と会議が行われ、明日、好天の場合、本格的な調査が行われることになっています。

アメリカからのロボット探査チームが来日し、調査を行います。このロボットは、ニューヨークの同時多発テロ(2001年9月11日)の際にも活躍したロボットで、今回は海のがれきの様子を調査してもらいます。船が通れるかどうかなどの判断の材料になると思われます。

■ 質疑応答事項

(記者) 集団避難で4月21日(木)に出発される方には、県外避難者も含まれるのか？

(町長) 含まれません。県外避難者については、現在調整中です。

(記者) 浸水区域に仮設住宅を建設するとした場合、津波が発生した際、高いところへ逃げる必要があると思われる。そのためには防災無線が必要になると思うが、防災無線は大丈夫なのか？

(町長) 約60箇所の防災無線が被害を逃れています。電気が通り、テストを行ったあと、放送を再開する見込みです。

(記者) ロボット調査の目的は？

(町長) 船が港に着けるかどうかなどの判断材料になります。消防にも相談して判断することになります。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/18)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月18日(月)午後3時

■避難人員 7,035人

町内避難所:41箇所、6,424人

町外避難所:5箇所、611人

■集団避難人員:911人

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 467体

うち身元確認済み 370体

■公立志津川病院開所式について

今日から、公立志津川病院を再開しました。

今日は快晴の天気で、白衣がこんなにもまぶしいものかと感じました。

朝8時15分から行われた開所式には、病院関係者をはじめ、これまでご支援をいただいていた栗原市の佐藤勇市長、登米市の病院事業管理者にもご出席いただきました。

プレハブでのスタートですが、復興に向けて一歩進めることを、とても嬉しく思っています。

8時半から始まった診療受付には、たくさんの方が来られ、町民の皆さんの健康管理に取り組んでいくことを、スタッフ一同、心新たにいたしました。

■第二次集団避難の状況について

第二次の集団避難について、545人の申し込みがありましたが、避難先が決定したのは、521人(充足率95.6%)となりました。

集団避難先の内訳は、

県内が、栗原市31人(調整中含む)、登米市156人、大崎市285人、加美町25人

県外が、山形県13人、秋田県11人です。

第二次集団避難者リストの掲示は本日中をめざして調整中、出発日時については現在調整中です。

なお、今回の集団避難から外れた24人については、第三次募集の申し込みで希望を反映させたいと思います。

■質疑応答事項

(記者)第二次集団避難で、避難先が決定しなかった24人について、決定しなかった理由は？

(町長)第二希望、第三希望で調整したが決定しなかったということです。

(記者)町内避難者数が減った理由は？

(町長)電気が通って自宅に戻った方も多いようです。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/17)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月17日(日)午後3時

■避難人員 7,236人

町内避難所:41箇所、6,625人

町外避難所:5箇所、611人

■集団避難人員:911人

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 467体

うち身元確認済み 370体

■公立志津川病院の診療再開について

・ご承知のとおり、公立志津川病院は大震災により医療設備のすべてを失いましたが、3月28日(月)から4月10日(日)までご支援いただいた、イスラエル医療団が使用していたプレハブ施設や医療器材を活用し、明日、4月18日(月)から外来診療を再開することとなりました。

・診療受付時間は、午前は8時30分から11時まで、午後は、2時から4時までとなっております。また、巡回診療も行うこととしています。

■厚生労働大臣政務官への要望書の提出

本日午後、南三陸町の被災状況を視察した、厚生労働大臣政務官 小林正夫氏が来庁し、「東日本大震災にかかる救済及び復興対策のための要望書」を手渡しました。要望書の内容は…

・雇用保険にかかる給付期間の延長

・雇用の場の確保と企業支援(被災者の生活再建に雇用の場の確保は喫緊の課題。被災者を雇用する企業を支援して欲しい。)

・各種産業の復興支援制度の確立

・無料職業紹介センターの再開支援(町内の雇用関係の支えになっていた組織であり、就業のあつせんのためにも再開が必要。)

【小林政務官のコメント】

・国をあげて対応していく。

・要望書を持ち帰り、農林水産省ほか関係省庁と調整し、ご要望の方向になるよう、検討していく。

・第一次補正予算を近々に制定し、その後、第二段、第三段と取り組んでいく。

■質疑応答事項

(記者)病院が再開することについての思いは？

(町長)病院機能を失ってしまい、災害対策本部横のスペースでの診療業務では不十分であった。病院の再開で、一つのスタートラインに立てたと感じている。

(記者) 今後医療支援チームが少なくなっていくことにより医師不足という問題が発生しないか？

(町長) 現在の診療スペースには、たくさんの医療支援をいただいている。東北大学をはじめ、継続的に支援したいとの申し出をいただいている。

(記者) 巡回診療はいつスタートするのか？

(担当課) 4月19日(火)からスタートします。

(記者) 集団避難の避難場所の確定はいつですか？

(町長) 明日の予定です。しかし、人数が少ない避難先の調整などがあるので、明日の発表は難しいかもしれない。

※公立志津川病院の診療案内

◆開設場所 ベイサイドアリーナ駐車場内

◆診療受付時間

【午前の部】

午前8時30分から午前11時

【午後の部】

午後2時から午後4時

◆診療科目

【内科】

月・火・水・木・金

【外科】

月・金

【整形外科】

火・水・木

【歯科】

月・火・水・木・金

【小児科】

月・水

【眼科・耳鼻科・皮膚科】

金

※眼科・耳鼻科・皮膚科の診療時間は、午前10時から午前11時30分までです。)

◆巡回診療

【巡回診療時間】

午後1時から午後3時

【巡回診療場所】

月: 入谷中学校

火: 歌津中学校

水: 志津川小学校

木: 志津川高校

金: 宮城県志津川自然の家

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/16)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月16日(土)午後3時

■避難人員 7,262 人

町内避難所:41箇所(6,669人)

町外避難所:5箇所(593人)

集団避難:911人

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 462体(前々日より 11体増)

うち身元確認済み 366体(前々日より 3体増)

■県町村長会議及び県市町村長会議について(4月15日開催)

・仙台市において、県町村長会議及び県市町村長会議が行われ、次のとおり報告がありました。

<報告内容>

・東日本大震災の災害状況の報告

・宮城県震災復興基本方針(素案)

・県における主な対応状況

1.二次避難について

2.災害廃棄物等の処理について

3.応急仮設住宅について

4.義援金の配分について

5.震災における警察活動について

※最後に意見交換が行われ、各市町村長さんそれぞれ活発な発言をしていました。

■本町の二次集団避難の応募について

・4月11日から14日に募集しました、二次の集団避難の応募結果は、213世帯、545人の方から応募がありました。

■質疑応答事項

(記者)集団避難の申込が545人だったが、どう思うか？

(町長)前回より少なく、想定を下回る数字でした。

(記者)集団避難の申込者が前回を下回った理由は？

(町長)避難所で既にコミュニティが出来上がっていることなどが考えられる。仮設住宅ができるまで、より良い状況で生活していただきたいという気持ちに変わりない。

(記者) 県外避難予定者の内訳は？

(保健福祉課長) 山形県庄内町: 1人、山形県: 9人、秋田県: 7人、青森県: 3人、新潟県: 1人

(町長) 避難予定人数が少ない県・町については調整が必要と考え、担当課から避難予定者に説明する予定です。

(記者) 集団避難の避難先の決定はいつ？

(保健福祉課長) 4月18日です。

(町長) 避難先が決定した時点で人数は減る可能性があります。

(記者) 集団避難先への移動はいつ？

(保健福祉課長) 4月20日過ぎです。

(記者) 昨日の会議で義援金の配分の話があったようだが、行方不明者もあり、どのように配分していくのか？

(町長) 義援金の配分については苦労している。できる限り把握して進めたい。

(記者) 私立幼稚園の設置が進められていると聞いたが？

(町長) 子どもの心のケアが大切で、気になっている。父兄会、先生方の協力も得られそうである。また、ユニセフに協力依頼したところ、ユニセフの活動の趣旨に合うので協力したいという回答をいただいた。

(記者) 3次の集団避難はいつ行われるのか？

(保健福祉課長) 4月22日か23日に募集開始する予定です。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/14)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月14日(木)午後3時

■避難人員 7,257 人 前日より 29 名減 ※避難所:44 箇所

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 451 体(前々日より 増減なし)

うち身元確認済み 363 体(前々日より 1 体増)

■被災者生活再建支援金申請の受付について

・今回の大震災により、被災されました世帯を対象に、被災者生活再建支援法に基づく支援金の申請を受け付けます。

・申請は、各避難所等を訪問し行います。なお、町外の集団避難所につきましては、5月に日程調整し、申請を受付します。

・また、期日までに申請出来なかった場合は、5月2日以降役場仮庁舎(保健福祉課)で行います。(詳細につきましては、会見終了後、ペーパーをお渡しいたします。)

■県議会 大震災対策調査特別委員会の現地調査について

・本日、県議 20 名が現地調査に本町に入ります、伊里前地区(午後3時00分)、仮庁舎内会議(午後3時50分)、その後、市街地に移動することとなっております。

■明日の定例記者会見について

・本日、定例記者会見終了後、明日、開催されます。町村会主催の町村長会議および県主催の宮城県市町村長会議へ出席のため不在となりますので、明日の定例記者会見は休みとさせていただきます。

■記者発表 質疑応答

(記者)集団避難の申込が今日までだが、申込の集計についてはいつ発表になるのか？

(町長)16日の記者発表でお知らせします。

(記者)山火事があったようだが、被害者は？

(町長)被害者は出ていません。

■山火事についての情報

・発生日 平成23年4月14日 ・出火場 天王山(旧変電所あたり)

・経過 午後0時36分 通報、消防車13台が現場に向かう

午後0時44分 現場到着

午後0時45分 放水開始

午後1時45分 鎮火

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/13)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月13日(水)午後3時30分

■避難人員 7,286 人 前日より 19 名減 ※避難所:44 箇所

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 451 体(前々日より 5 体増)

うち身元確認済み 362 体(前々日より 3 体増)

■仮設住宅の着工について

・昨日4月12日(火)に、第3期の仮設住宅が着工しました。

・今回は、吉野沢団地(100戸)、志津川小学校(50戸)、志津川中学校(80戸)の3箇所で、計(230戸)です。入居予定は、5月下旬から6月上旬となっています。

■西宮市長(河野昌弘氏)の訪問及び職員の派遣について

・先日(4月10日(日))、河野昌弘西宮市長さんが本町にお越しいただきました。西宮市はこの間、関西広域連合の一員として本町を支援いただいておりますが、本町からの支援要請を受けて、4月12日(火)から、企画課広報を担当いただいております。

・西宮市は、今から16年前(H17.1.17)阪神・淡路大震災で被災された地域であり、今回、派遣される職員は、震災経験であり、大変頼りになり、ありがたく思います。

※西宮市 谷口係長(以前、10年間広報の担当をされた。)

■質疑応答事項

(記者)学校のグラウンドを使って仮設住宅を建設することについてどう思うか？

(町長)他の被災地の状況を見て、当町のグラウンドを使わないということとはできない。子どもたちの遊ぶスペースが少なくなることは胸が痛む。グラウンドの半分の敷地に仮設住宅を建設するので、残り半分のスペースで子どもたちが遊べるようにしている。

(記者)仮設住宅の敷地を公有地で確保できない場合、私有地を利用することは考えているか？

(町長)私有地の提供をお願いしている。県にも私有地を利用することについて説明している。

(記者)私有地を利用する場合、いつから仮設住宅建設着工になるか？

(町長)公有地での建設が終了してからになる。

(記者)震災後、転出されている皆さんのための仮設住宅も必要になるのか？

(町長)一時的な避難なので、必要になると考えている。

(記者)診療所は4月15日(金)に開所できるのか？

(町長)4月18日(月)開所に変更になりました。午前8時15分から開所式を行います。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/12)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月12日(火)午後3時

■避難人員 7,305 人 前日より 26 名増

※避難所:44 箇所

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 446 体(前々日より 5 体増)

うち身元確認済み 359 体(前々日より 2 体増)

■南三陸町復興計画について

・昨日、宮城県において、県震災復興基本方針の素案が示されました。～宮城・東北・日本の絆・再生からさらなる発展へ～をテーマに5つの基本理念から本素案は、大震災により甚大な被害をこうむった地域の復興に向け、その基本的な方向性を示したものです。

・後日、県において本素案の説明会があることから、その後、本町においても、復興計画の策定に着手いたします。

・復興計画につきましては、当然、国、県と連携し策定して参りますが、現総合計画の目指すまちの将来像、基本理念を踏まえながら、町民の皆さんが希望を持てる、まちづくりに取り組んで参りたい。

■義援金について

・全国各地から多くの温かいご支援をいただいております。

・4月11日(月)現在の義援金は、173,394,376 円が寄せられております。

・お預かりいたしました義援金は大切に活用させていただきます。

■質疑応答事項

(記者)宮城県の発表では、県内すべての港を整備することは難しいとのことだが？

(町長)町内に23の港湾がある、すべてを整備するのは難しい、集約化が必要である。

(記者)避難所および2次避難した方への連絡方法は？

(町長)町内の避難所へは、毎日の物資の配送時等に情報をお送りしています。また、2次避難した方々へは、現在、5月1日号広報を作成中であり、完成次第順次郵送したい。広報は4ページ程度を予定している。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/11)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月11日(月)午後3時30分

■避難人員 7,279 人 前日より 64 名減

※避難所:45箇所

■昨日現在で

搬入遺体数(2会場) 441体(前々日より4体増)

うち身元確認済み 357体(前々日より5体増)

■大震災から1ヶ月が経過して

- ・改めて、この大震災により、お亡くなりなられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。
- ・本町を襲った未曾有の大津波は、一瞬で町を飲み込み、多くの町民の命をも飲み込んでしまいました。1カ月を迎える現在も7,000人を超える町民が避難生活を送り、今もなお、多くの方の安否が分からない状況です。平成23年3月11日を私たちは決して忘れません。
- ・町民の命と財産を守る町長として、多くの尊い命を一度に失った悲しみは言葉で言い表すことはできませんが、町民の生活を立て直し、安心、安全な町を再建しなければなりません。
- ・復興に向け、町民の皆さんと膝を交え話し合い、スクラムを組み、必ずや私たちのふるさと南三陸町の復興をお約束いたします。

■財務省 桜井充副大臣への要望について

- ・本日、財務省 桜井充副大臣へ復興対策の要望をさせていただきました。
- ・「義援金の即時交付など」5点について、要望させていただきましたが、副大臣からはすべて前向きなお返事をいただいたところです。
- ・要望には、町内各種産業団体の代表の方にも同席をいただき、町民の生の声もお聞きいただきました。
- ・副大臣からは、漁港の整備について、色々な提案をいただいたところです。
- ・桜井充副大臣より、力強いお言葉をいただき、復興への決意を新たにしましたところ。

■質疑応答事項

(記者)黙とうでの想いは？

(町長)「つらい」1カ月前を思い出しました。

(記者)改めて1カ月を振り返り

(町長)避難した方々を守ることを心がけてきた。また、未だ、多くの町民の安否が分からない状況の中で、日々、山積した課題を解決するため、走り抜いた1カ月であった。

(記者)今後に向けて

(町長)4月18日(月)に、不通になっていた電気が通電となると聞いている「希望のひかり」であ

る。早い時期に町の将来の青写真をお示ししたい。

(記者)2次避難について

(町長)2次避難が進まないのは理解する。決して、この町を離れるのではない。仮設住宅が整備されるまでの間、2次避難をお願いしたい。先日、登米市に2次避難された方から登米市に感謝する旨の話をお聞きした。私としても登米市長はじめ、登米市民の皆さんに感謝いたします。

(記者)防災対策庁舎を(モニュメントのような形で)今後に残すことについて

(町長)私個人としては、この大震災を後世に残し、心に残す方法のひとつと考えている。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/10)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月10日(日)午後3時

■避難人員 7,343人

※避難所:45箇所

■昨日現在で

・搬入遺体数(2会場) 437体

うち身元確認済み 352体

■イスラエル医療チームの撤収について

・本日の診療をもってイスラエル医療チームが撤収します。

・イスラエル医療チームについては、3月28日(月)から4月10日(日)までの期間、医療関係者等、合計で60名の方々が当地に滞在し医療支援をいただきました。

・滞在期間中(本日午前11時現在)、延べ209件の診療を行っていただきました。

・震災そして巨大津波により、医療施設のほとんどを失った本町にとって、大勢の医療スタッフと高度な医療機器による診療の提供は、町民にとってどれほどの安心を与えたか計り知れません。

・さらに、撤収にあたり、現在の医療施設及び医療機器について、このまま本町に残していただけたらとのお計らいをいただき感謝に堪えません。

・また、イスラエル医療チームとの橋渡しをしていただいた、佐藤栗原市長にも衷心よりお礼申し上げます。

・なお、本日午後5時より、現地において撤収式を行うこととしています。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/9)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月9日(土)午後3時

■避難人員 7,090人 ※避難所:45箇所

■第2次集団避難の申し込みの受付について

- ・4月11日(月)から4月14日(木)まで、第2次集団避難の申し込みの受付を行います。
- ・期間は、第1次と同様に仮設住宅完成予定の9月までとなります。

避難先は、栗原市、登米市、大崎市、加美市、色麻町、山形県庄内町などとなっています。

- ・避難所の決定は、前回同様に集落がまとまった場合や第1次で移動されている方の家族が同じ施設を希望した場合は、そちらを優先させていただきます。

■国道45号水尻橋の通行時間の延長について

- ・国道45号水尻橋の通行について午前5時から夕方7時までとし朝方の2時間を拡大しました。

■身元不明ご遺体の供養会について

- ・本日、身元不明となっております39のご遺体について、町内の導師様10名のご協力により、手厚く供養をさせていただきました。

・本来であれば、家族に引渡しをしたかったのですが、私としても慙愧に耐えません。

・亡くなられた方々もきっと町の復興を願っていると思います。その思いを大切にこれらの町の復興にあたっていきたいと思います。

■民主党 岡田幹事長、長妻筆頭副幹事長、安住国会対策委員長への要望について

・本日、民主党 岡田幹事長、長妻筆頭副幹事長、安住国会対策委員長へ、復興対策の要望をさせていただきました。主な要望は次の5点となります。

- ・1点目 「災害義援金の即時交付」
- ・2点目 「行方不明者の失踪宣告確定に係る期間の短縮」
- ・3点目 「応急仮設住宅の早期供給」
- ・4点目 「各種産業の復興支援制度の確立」
- ・5点目 「災害復興計画策定への支援」

・そのほかにも、産業団体の方々に同席していただき、農漁業、商工業の再生のための支援について要望しました。

・席上、岡田幹事長より、力強いお言葉をいただき、復興への決意を新たにしたところであります。

■質疑応答事項

(記者)集団避難の第2次募集の予定は？

(町長)集団避難の第2次募集分については避難先自治体及び受け入れ人数とも増加している。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/8)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月8日(金)午後3時

■避難人員 7,090人(昨日より192名減)

※避難所:45箇所

■昨日現在で

・搬入遺体数(2会場) 425体(一昨日より9体増)

うち身元確認済み 344体(一昨日より6体増)

■4月7日(木)午後11時32分発生の地震に伴う被害について(災害対策本部収集分)

・志津川小学校→窓ガラス3枚破損、体育館ライト2~3個破損

※なお、天井板の内側ボルトの破損により、天井パネルの落下の恐れがあります。

・歌津中学校→体育館の照明1個落下、ガラス破損

・荒町地区→停電

・建設課分→町道については、現在、調査中です。

・学校分→3月11日、4月7日分を含め被害調査を実施し、補修すべき箇所については、補修のうえ対応します。5月9日以降の学校再開を目指しています。なお、ケガ人の情報はありません。

■兵庫県吉本副知事の現地視察について

・4月7日(木)午後1時から3時まで、副知事をはじめ関係者一行が被災地を視察し、その後、会談を行いました。

・兵庫県をはじめ、関西広域連合からは、震災直後から多数の職員の方を継続的に派遣いただいています。

・また、職員派遣に関しては、関西広域連合のほか、秋田県、東京都、宮城県、北海道本別町、同じく北海道帯広市、鹿児島県伊佐市などからも派遣をいただいております。大変感謝しています。

■質疑応答事項

(記者)各地域から派遣応援をいただいているが、そのことについて。

(町長)震災発生時から派遣をいただいている。

※内訳

関西広域連合(第1期) 3/23~3/29 19名

関西広域連合(第2期) 3/29~4/3 25名

関西広域連合(第3期) 4/3~4/9 34名

秋田県、秋田市役所 3/31~4/30 10名

東京都 4/3~4/18 40名

北海道本別町(第1期) 4/7~4/18 4名

北海道本別町(第2期) 4/18~4/30 4名

鹿児島県伊佐市(第1期) 4/7~4/13 7名

北海道帯広市 4/14～4/19 4名

(記者) 昨晚の余震について、避難所での情報伝達は出来たか？

(町長) 通信手段がこのとおりであり、避難所ごとでの避難となった。(津波警報もでたが、低いところに住宅が無いので。)

(記者) 町長自身、昨晚の余震について。

(町長) 3月11日の地震と違った。たて揺れを感じた。

(記者) 二次避難について。

(町長) 町民の方の笑顔を見ることが出来た。区長会で区長から昨晚の地震でまた、停電になってしまった旨の発言があった。

(記者) 二次避難について、希望者が増えないが？

(町長) 4月10日から二次募集を行う。先ほどの区長会で衣・食・住のうち「住」が大きな関心である。45ある避難所は集約しなければならないが、コミュニティも重要であり、集約化が課題となっている。

(記者) 仮設住宅の設置場所は？

(町長) 基本的に公有地に整備をしたい。民有地については、現在、県と協議中である。

(記者) コミュニティー(地域)優先か抽選か？

(町長) 子どもたちの教育の問題もある。非常に難しい。

(記者) 民有地への整備はあるのか？

(町長) 相当数の住宅が必要である。公有地に約1,000戸しか整備出来ない。その他については、民有地となる可能性もあるが現在、県と協議中である。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/7)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月7日(木)午後4時

■避難人員 7,282人

※避難所:45箇所

■昨日現在で

・搬入遺体数(2会場) 416体(一昨日より5体増)

うち身元確認済み 338体(一昨日より7体増)

■り災後1カ月を迎えるにあたっての、全町民による黙祷について

・まもなく、未曾有の被害となっている東日本大震災の発生から1カ月を迎えます。この日を迎えるにあたり、町長としてメッセージを発するとともに、町民の総意として、犠牲となられた方に哀悼の意を表し、黙祷をささげたい。

・具体的には、地震発生時刻である4月11日(月)午後2時46分にサイレンを吹鳴し、黙祷をささげたいと考えています。また、黙祷の前に、町民の皆さんに向けて町長としてのメッセージを申し上げたいと思います。

・なお、今もって防災行政無線が届かない地域があることから、各避難所等にあらかじめメッセージを配布し、避難所配置の職員または地域の代表の方からお伝えいただきたいと考えています。

■仮設住宅の申し込みについて

・4月8日(金)から、仮設住宅の入居申し込みの受付を開始します。

※入居対象者は、「住家が全壊等または流失し居住する住家がない方で、自己の資力では住宅を確保することが困難な被災者(世帯単位での入居になります)」です。

・今回申し込みを受け付けるのは、登米市横山地区に設置する59戸及び戸倉地区の自然の家に設置する80戸分です。

・申込期間は、4月8日(金)から4月21日(木)までとし、職員が町内外の各避難所を回って申込用紙の配布を行うほか、仮庁舎建設課でも受け付けます。

・入居者の決定は、4月22日(金)に行うこととし、申し込みが多い場合には、抽選を行うこととしています。

・抽選となった場合については、町長がくじを引く形にしたいと考えています。

■質疑応答事項

・避難所の集約については、行ったほうがよいと思っておりますが、現在、各避難所において出来上がっているコミュニティにも配慮しなければならないと考えます。

・仮設住宅建設の今後の見通しについては、今後、民有地活用の申し出を受けることについて、行政区長会議にて説明したいと考えています。

・4月11日(月)に町長が行うメッセージの読み上げは、ベイサイドアリーナ正面玄関で行います。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/6)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月6日(水)午後3時

■避難人員 8,204人

※避難所:45箇所

■昨日現在で

・搬入遺体数(2会場) 411体

うち身元確認済み 331体

※把握数値の相違により、昨日までの発表数値から大きな動きがあります。(町を通さず、個人で火葬を手配した場合など、町で把握できなかったものがあつたためです。)

※昨日までは、町で火葬を取り扱った数値を集計して発表していましたが、今後は、県警で把握している数値を提供いただき発表します。

※遺体安置所については、歌津分をベイサイドアリーナに移し、旧豊里小学校との2箇所としました。

■身元不明者の火葬について

・4月3日(日)の会見において、身元不明者のご遺体について土葬を行う旨の発表を行いました。各地の火葬場等の協力により、火葬が順次進んでいることから、身元不明者についても火葬できる状況となりました。

【具体的な日程】

○供養祭:4月9日(土)午前11時～ベイサイドアリーナ遺体安置所

○火葬:4月9日(土)午後から順次行います。

○火葬場:南さんりく斎苑、登米火葬場、くりはら斎苑

■第一次集団避難の状況について

・本日、午前11時30分頃、第一次集団避難の最終目として、登米市へ向けて出発しました。

・前日より時間が早まっているのは、避難先において炊き出しの提供があるためです。

・本日の移動した被災者数は63名。累計で833名の方が第1次集団避難として各地に移動しました。

※昨日までの発表では、累計で1,049名となる見込みでしたが、直前の辞退者等を含んでいた数値であつたため、再度集計の結果833名となりました。

・第二次の集団避難については、4月10日(日)ころから募集を始める予定としており、避難先については、第一次の受け入れ残数と合わせて1,000人分を用意する予定です。更なる詳細については、決まり次第お知らせします。

■感染性胃腸炎の状況について

・町内の避難所等において、感染性胃腸炎が確認されていることは昨日の会見で申し上げたとおりですが、避難所における確定例が7件、在宅の確定例が1件です。(特に重篤な状況とされ

た例はありません。)

- ・対策としては、保健師が各避難所と連携して予防を徹底します。(発症者の周囲に消毒液、手袋、マスク等を配布、トイレ掃除の指導など)
- ・現時点において、新規の発症者はいませんが、今後とも継続した予防対策を行っていきます。

■家屋の被害状況調査について

- ・被害調査班において、4月4日(月)から4月8日(金)までの予定で、家屋の被害調査を実施しています。
- ・調査が必要と見込まれる家屋約500棟のうち、昨日時点で約220棟の調査を終了しました。
- ・調査は、町職員8名、宮城県職員2名、東京都からの応援職員30名の40名体制で実施しています。

■り災証明書の受付について

- ・4月3日(日)から4月8日(金)までの予定で、各避難所を回る形式で「り災証明書」の申請受付を行っています。
- ・証明書は、各避難所ごとに後日まとめて発行する予定です。
- ・仮庁舎での受付は、4月10日(日)から行います。

■質疑応答事項

- ・集団避難先への対応については、定期的な職員の訪問や町からの情報発信を行います。
- ・集団避難に対する町長の所感としては、受け入れ先に感謝するとともに、昨日一部の避難所に立ち寄った際、避難民に笑顔が戻っていることに安堵しました。
- ・ガレキ処理の進捗については、行方不明者の検索が第一であるため、進みが遅れていることはやむをえないと思う。
- ・仮設住宅の用地については、県と協議し、民有地への建設もやむをえないとして、その準備を進めています。
- ・職員の健康管理については、管理職に意を用いるように指示しています。
- ・学校の再開時期については、5月9日(月)以降としています。戸倉小学校、名足小学校がり災していることから、再開の遅れはやむをえないと思います。現在、学校では「あおぞら教室」等を実施しているところもあり、懸命の努力をしています。
- ・町内の多くの配電線及び変電所が津波により消失したため、現在、東北電力により送電線の仮設鉄塔、仮設変電所及び配電線の建設が急ピッチで進められています。仮設中の変電所の完成にあわせて、早いところで4月20日前後に送電できるよう作業が進められています。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/5)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月5日(火)午後3時

■避難人員 8,091人

※前日より463人減(集団移動294人、個人移動169人)

※避難所:45箇所

■今日の13時現在で

・搬入遺体数(3会場) 385体(昨日より6体増)

うち身元確認済み 293体(昨日より3体増)

■第一次集団避難の状況について

・本日、昼12時過ぎ、第一次集団避難の3日目として大崎市へ向けて出発。志津川地区の被災者294名が、バス8台に乗車して移動しました。

・累計で954名の方が集団避難として移動しました。(明日が第一次集団避難の最終日)

・本日、町長が集団避難先のうち金成延年閣、若柳ウエットランド交流館、鱒淵小学校を訪問しました。

■イスラエル国防軍による現地視察

・本日、午前11時40分から12時10分まで、イスラエル国防軍 ヤイル・ゴラン少将、駐日イスラエル大使、ニシム・ベンシトリット氏らが来町し、現地視察及びイスラエル医療チームの活動状況を視察しました。

■その他の情報

・町内の避難所において感染胃腸炎の確定例8名(4/4現在)

・身元不明者の仮埋葬について、土葬を予定していましたが、火葬となるよう現在調整中です。

・集団避難の二次分については、決まり次第お知らせします。

・家屋の被害状況調査については、現在実施中ですので進捗状況は後日お知らせします。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/4)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月4日(月)午後3時

■避難人員 8,554人

※前日より165人減(集団移動159人、個人移動、6人)

※避難所:45箇所

■今日の13時現在で

・搬入遺体数(3会場) 379体(昨日より4体増)

うち身元確認済み 290体(昨日より2体増)

■第一次集団避難の状況について

・本日、昼12時過ぎ、第一次集団避難の2日目として、大崎市へ向けて出発。戸倉地区の被災者159名が、バス5台に乗車して移動しました。

・出発に際し、もくもくランド駐車場にて、町長が避難住民にあいさつを行いました。

・第一次集団避難は、明後日4月6日(水)までの移動となります。また、次回の集団避難の詳細については、まとまりしだい報道関係の皆さんにお知らせします。

■内閣府防災担当大臣の現地視察について

昨日(4月3日)、午後4時から午後4時55分まで、松本防災担当大臣、末松内閣府副大臣、市村国土交通省政務官が来町し、現地視察、被災者への呼びかけ及び町長との会談を行いました。

■SCSミュージカル研究所による公演について

・4月5日(火)午後2時から、歌津中学校体育館にて、主宰の梶賀千鶴子(劇団四季出身)氏、作曲家の榊原光裕氏のほか、SCSメンバーが町民に元気を届けようと来町します。

・旧歌津町内の小学生を12年間指導し発表した、創作ミュージカルを演じます。

・演目は、潮風のロンド、田東の詩

・この小学生による創作ミュージカルは、1994年から2005年までの12年間指導をいただき、「ふるさとイベント大賞」で自治大臣賞を受賞しました。

■仮設住宅の建設について

・第1期分:登米市横山(横山駅付近)、59戸分、3月30日(水)着工

・第2期分:宮城県志津川自然の家敷地内、約70戸分、4月8日(金)着工予定

・第3期分:歌津吉野沢、約100戸分、着工時期未定

・第4期分:志津川小学校、志津川中学校、志津川高校の校庭、約210戸分、建設についての調査中

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/3)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月3日(日)午後3時

■避難人員 8,719人(前日より671人減)※避難所:45箇所

■今日の13時現在で

・搬入遺体数(3会場) 375体(昨日より5体増)

うち身元確認済み 288体(昨日より5体増)

■第一次集団避難の状況について

本日、昼12時過ぎ、栗原市・登米市・大崎市・加美町へ向け、第一次集団避難の501名が、バス22台に乗車して出発しました。

第一次集団避難は、4月6日(水)までの移動となります。

また、次回の集団避難の詳細については、詳細がまとまりしだい報道関係の皆さんにお知らせします。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/2)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月2日(土)午後3時

■避難人員 9,390人(前日と同数)※避難所:45箇所

■今日の13時現在で

・搬入遺体数(3会場) 370体(昨日より10体増)

うち身元確認済み 283体(昨日より3体増)

■り災証明書・被災証明書について

明日4月3日(日)から「り災証明書・被災証明書」の申請受付を開始します。

申請の際は、家屋等の状況の聞き取りを行い、場合によっては、現地調査を実施します。

これにより、生活再建支援金等の公的な災害救助支援を受けられるようになります。

■第一次集団避難の状況について

明日の第一次集団避難の出発日時

午前10時00分 送迎バスが各避難所に到着(職員添乗)

午前10時40分 ベイサイドアリーナに出発・昼食

午後 12 時 00 分 出発セレモニー(ベイサイドアリーナ)

午後 12 時 30 分 各地に向け出発

午後 2 時から 3 時 各地に到着

※現在、キャンセルは 20 数件ほど寄せられています。

■義援金(3月30日現在)

全国各地の皆様からお寄せいただいている義援金は、3月30日現在で218件となっております。
南三陸町復興のため、多くの方からご支援いただき心から感謝いたします。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(4/1)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

4月1日(金)午後4時

■避難人員 9,390人(昨日より110名減)※避難所:45箇所

■今日の13時現在で

・搬入遺体数(3会場) 360体(昨日より3体増)

うち身元確認済み 280体(昨日より1体増)

■火葬の進捗状況(町内対応分)

・昨日まで 235体(本日17体 火葬予定)

■4月1日付け人事異動について

4月1日付で人事異動を発令し、各部署、災害復興に向け重点的に人事を配置しました。

異動人員は総勢67名、そのうち新規採用職員が4名、3月31日付退職者のうち再任用が2名、嘱託職員が1名となっています。

■第一次集団避難の状況について

第一次集団避難で避難先が決定した方の出発日時が決定しました。

4月3日午前10時出発が栗原市6避難所・登米市1避難所・加美町1避難所となっており、大崎市の避難所へは3日から5日まで数日間に分けての出発となります。

また、4月6日午前10時出発は登米市1避難所です。

各避難所ごとに大型バス等を用意し送迎されます。

現在、キャンセルは10数件ほど寄せられています。